

第49回 景気動向レポート

2024年1~3月期

○概要

調査時期 令和6年3月上旬
 調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、
 伊勢原市、秦野市、座間市、
 海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡

全調査先 当金庫取引先 319先
 回答先数 当金庫取引先 314先
 (内訳) 製造業：62先
 卸売業：19先
 小売業：46先
 サービス業：73先
 建設業：85先
 不動産業：29先

回答率 98.4%

○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、
 調査先による直接記入・回収方式

○分析方法

DI (Diffusion Index)

DIとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」
 と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」
 と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。

DIがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、
 マイナスであれば下向きというように判断できます。

業況DIの推移 (業種別DI天気図)

	2023年 1-3月期	2023年 4-6月期	2023年 7-9月期	2023年 10-12月期 (前期)	2024年 1-3月期 (当期)	2024年 4-6月期 (予想)
製造業	↘ ☁	↘ ☁	⇒ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁
卸売業	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁
小売業	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁	⇒ ☁	↗ ☁	↘ ☁
サービス業	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁
建設業	↗ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁
不動産業	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁
全業種	↘ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↘ ☁



全業種

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況D Iは悪化、売上・収益D Iは改善の見込み

2024年1～3月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比▲0.3ポイントの7.0と悪化。小売業・サービス業・建設業・不動産業が改善、製造業・卸売業は悪化となりました。

売上DIについては、対前期比▲7.0ポイントの9.5となり、収益DIは対前期比▲4.1ポイントの1.9となりました。

その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比+3.9ポイントの24.2となり2期連続の上昇、仕入・原材料・材料価格DIは対前期比+1.9ポイントの48.9となり4期ぶりの上昇、資金繰りDIは対前期比▲1.9ポイントの▲3.2と4期ぶりの低下となりました。

来期（2024年4～6月期）の業況予想では、製造業・卸売業で改善、小売業・サービス業・建設業・不動産業で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比▲1.9ポイントの5.1と悪化を見込んでいます。

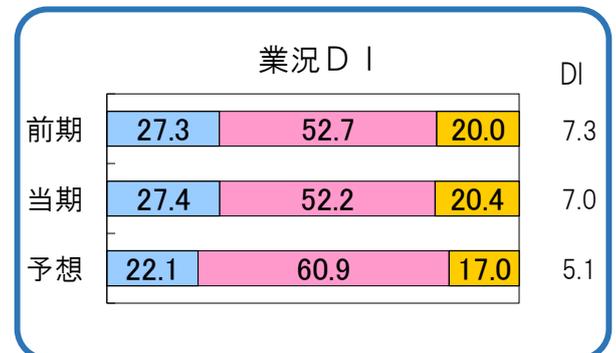
主要D I 構成



○業況D I



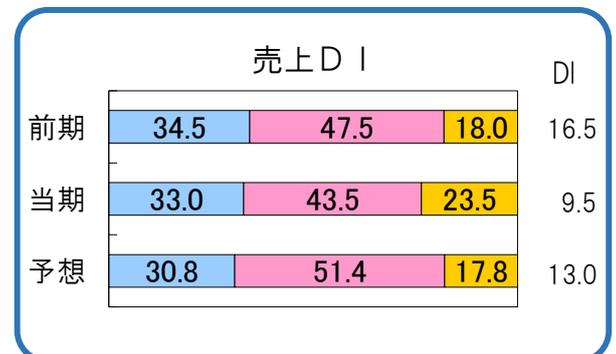
業況DIは、対前期比▲0.3ポイントの7.0(前年同期▲2.2・前回予想との差▲2.0)と4期ぶりの悪化となりました。今後の業況DIは、製造業・卸売業で改善、小売業・サービス業・建設業・不動産業で悪化を予想しており、対当期比▲1.9ポイントの5.1と悪化を見込んでいます。



○売上D I



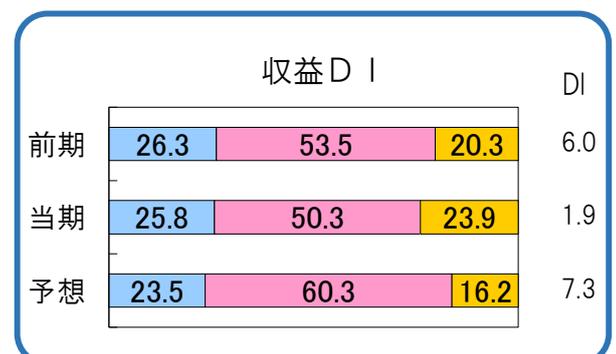
売上DIは、対前期比▲7.0ポイントの9.5（前年同期0.0・前回予想との差▲2.2)の悪化となりました。今後の売上DIは、対当期比+3.5ポイントの13.0と改善を見込んでいます。



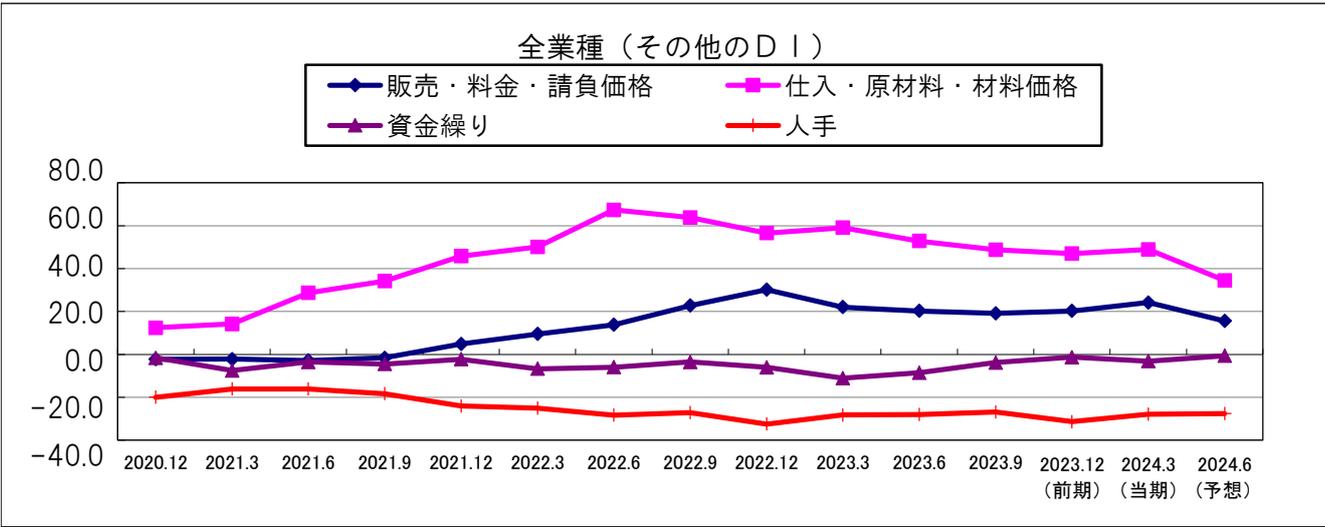
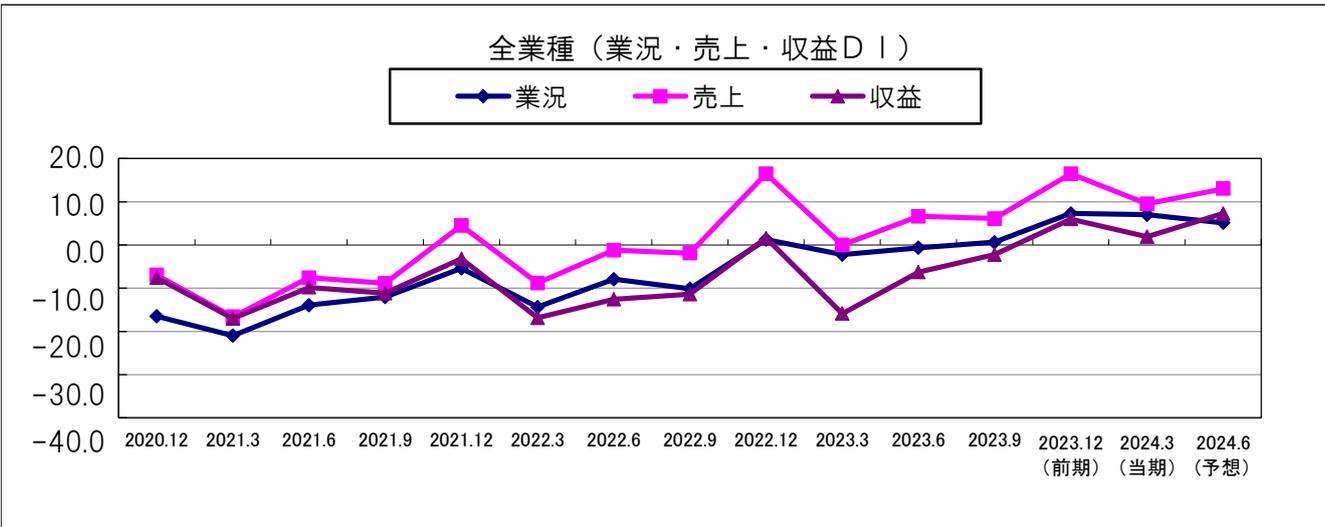
○収益D I



収益DIは、対前期比▲4.1ポイントの1.9(前年同期▲15.9・前回予想との差▲0.9)と4期ぶりの悪化となりました。今後の収益DIは、対当期比+5.4ポイントの7.3と改善を見込んでいます。



DIの推移



経営サポートセンターNEWS

経営者・創業希望者の皆様へ
課題解決のサポートをさせていただきます！！

◎主なサポートメニュー

- 創業支援
- 販路拡大
- M & A
- 事業承継
- ICT
- 補助金等

◎課題解決に関するお問い合わせは

〒254-0043 平塚市紅谷町11-19
平塚信用金庫 営業統括部 経営サポートセンター
TEL : 0463-24-3031

TRiBank Hiratsuka
平塚信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/hiratuka/>

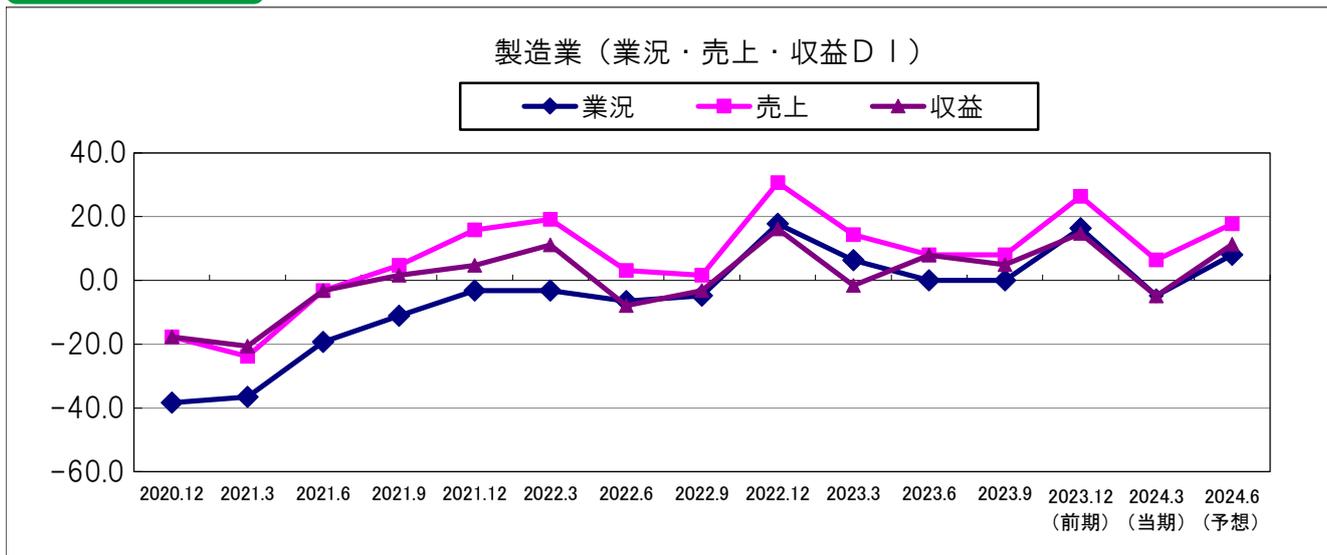
経営サポートセンターでは、多くの専門家や外部機関と連携して、お客さまの課題解決に取り組んでいます。お困りごとは、是非ひらしんまで。お客さまと共に課題解決のサポートをさせていただきます！

製造業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

主要D I 推移



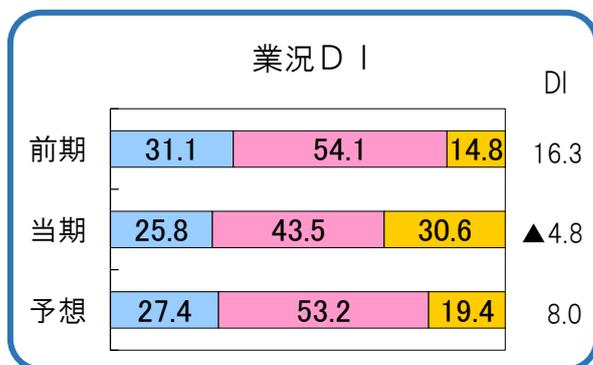
主要D I 構成



○業況D I



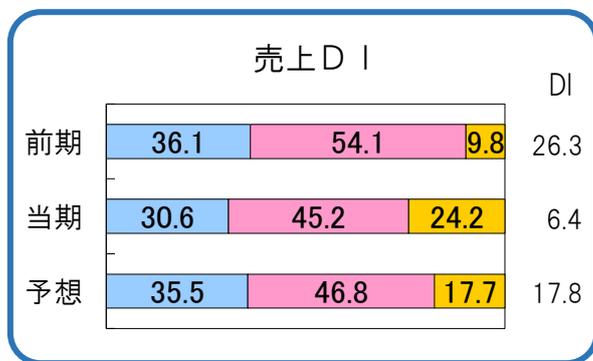
業況DIは、対前期比▲21.1ポイントの▲4.8(前年同期6.3・前回予想との差▲31.0)と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+12.8ポイントの8.0と大幅な改善を見込んでいます。



○売上D I



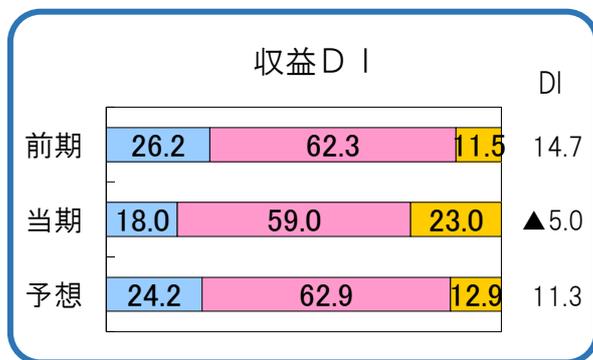
売上DIは、対前期比▲19.9ポイントの6.4(前年同期14.3・前回予想との差▲8.3)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+11.4ポイントの17.8と大幅な改善を見込んでいます。



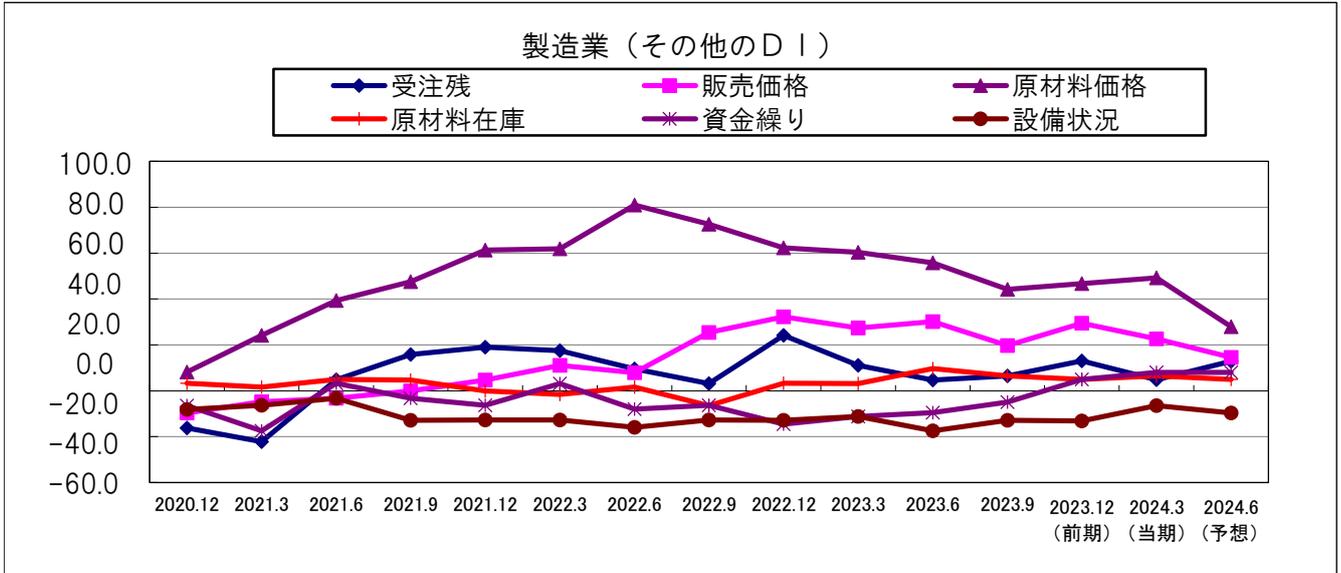
○収益D I



収益DIは、対前期比▲19.7ポイントの▲5.0(前年同期▲1.6・前回予想との差▲9.9)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+16.3ポイントの11.3と大幅な改善を見込んでいます。



その他のD I 推移

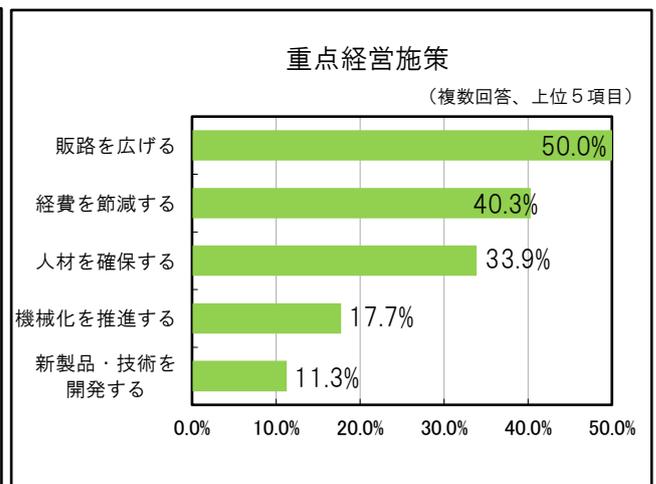
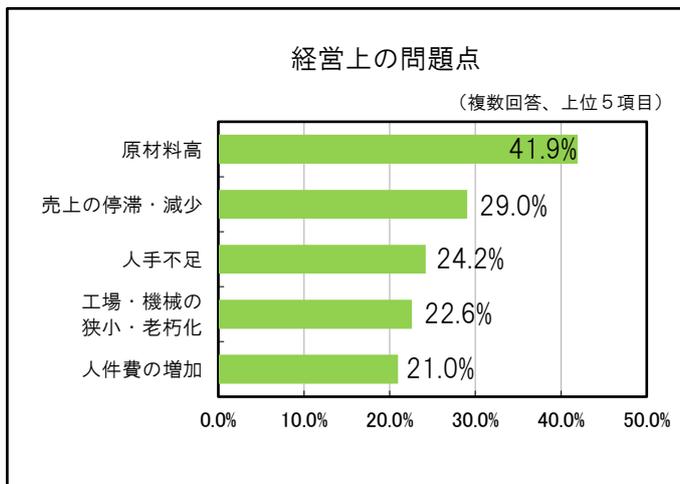


○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは▲8.3ポイントの4.8、販売価格DIは▲6.9ポイントの22.6、原材料価格DIは+2.5ポイントの49.2、原材料在庫DIは+1.6ポイントの6.6、資金繰りDIは+3.2ポイントの8.1、設備状況DIは+6.6ポイントの▲6.5となりました。

今後は、受注残DIは上昇、資金繰りDIは横這い、販売価格DI・原材料価格DI・原材料在庫DI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「原材料高」が41.9%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」29.0%、「人手不足」24.2%、「工場・機械の狭小・老朽化」22.6%、「人件費の増加」21.0%となりました。

【重点施策】

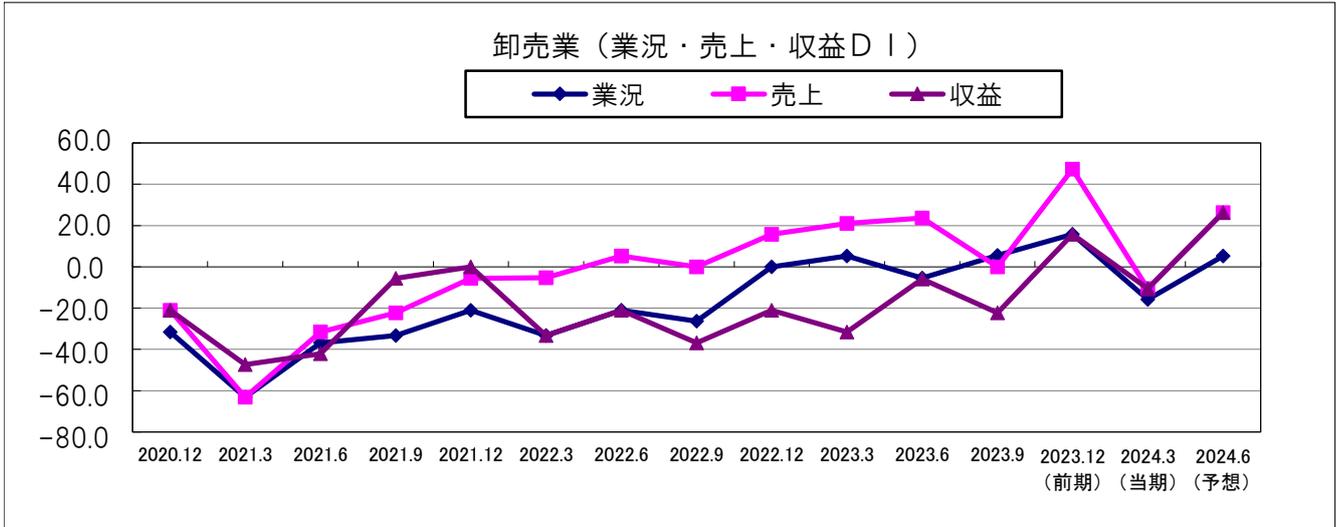
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が50.0%と最も多く、次いで「経費を節減する」40.3%、「人材を確保する」33.9%、「機械化を推進する」17.7%、「新製品・技術を開発する」が11.3%となりました。

卸売業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

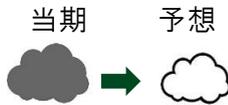
主要D I 推移



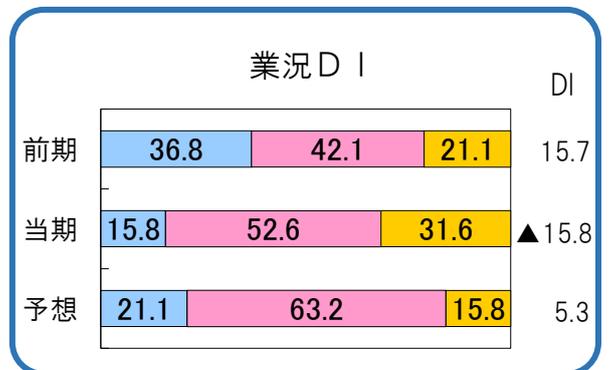
主要D I 構成



○業況D I



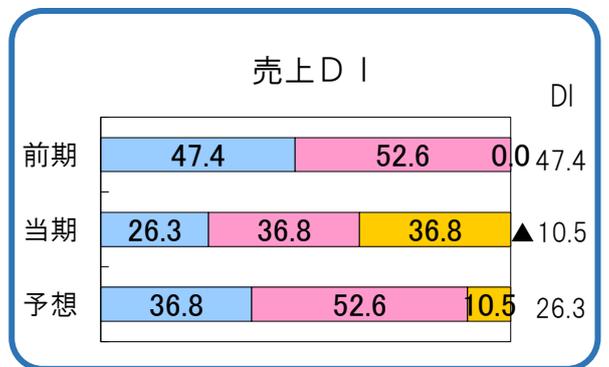
業況DIは、対前期比▲31.5ポイントの▲15.8(前年同期5.3・前回予想との差▲26.3)と3期ぶりの悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+21.1ポイントの5.3と大幅な改善を見込んでいます。



○売上D I



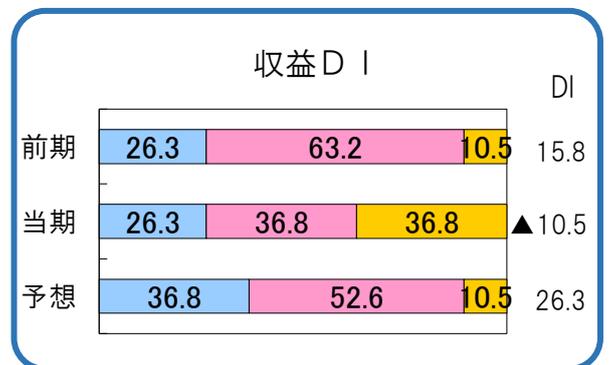
売上DIは、対前期比▲57.9ポイントの▲10.5(前年同期21.1・前回予想との差▲31.5)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+36.8ポイントの26.3と大幅な改善を見込んでいます。



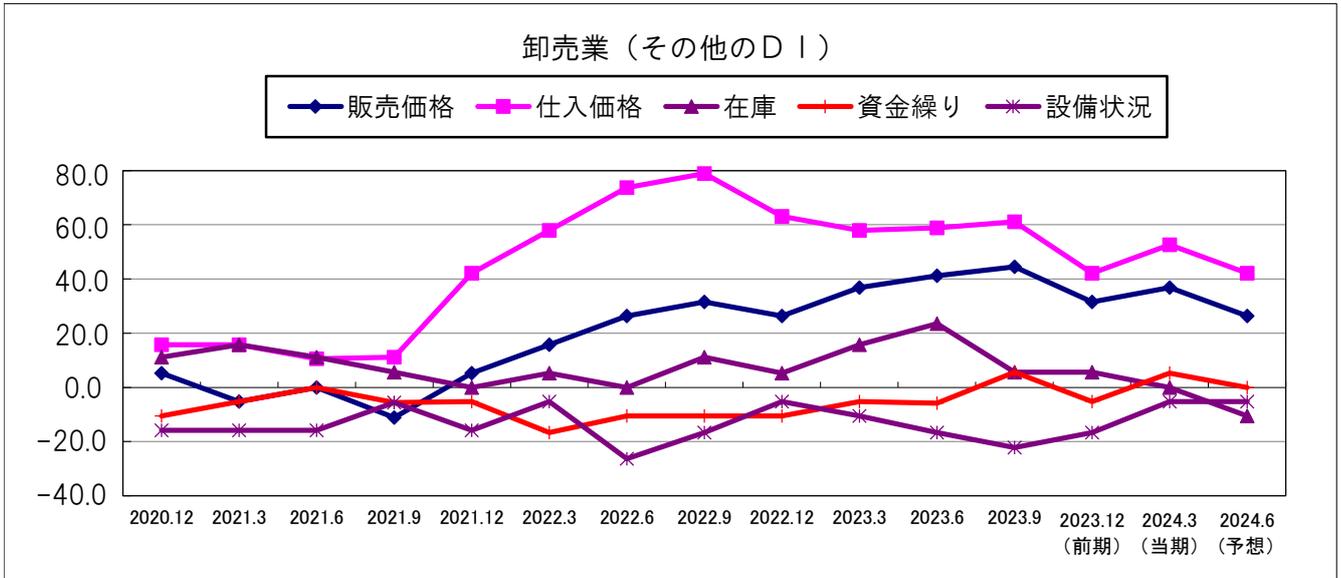
○収益D I



収益DIは、対前期比▲26.3ポイントの▲10.5(前年同期▲31.6・前回予想との差▲10.5)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+36.8ポイントの26.3と大幅な改善を見込んでいます。



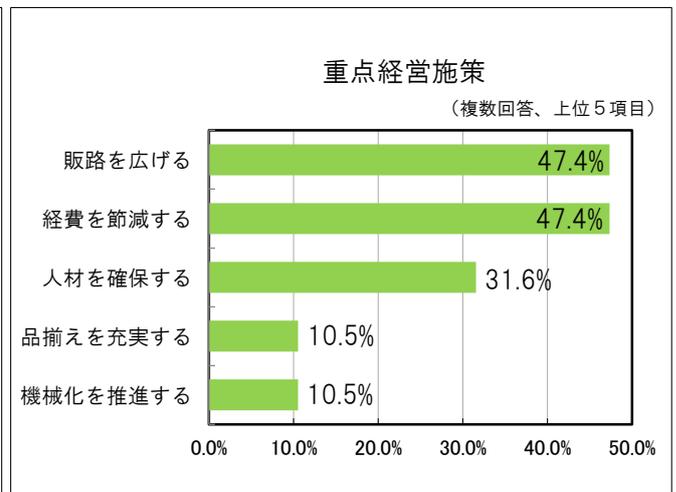
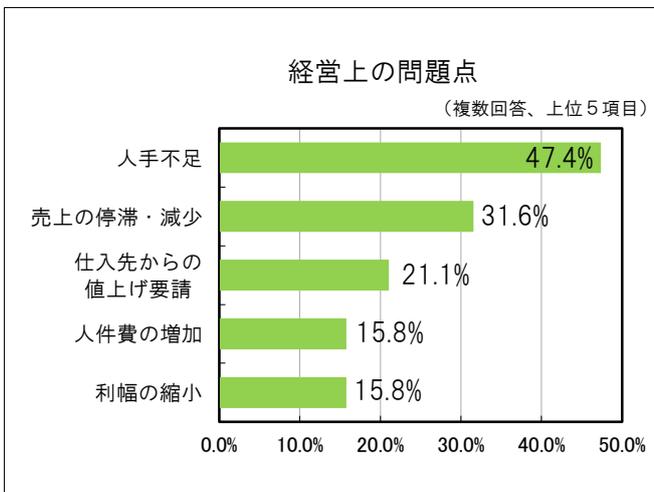
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは+5.2ポイントの36.8、仕入価格DIは+10.5ポイントの52.6、在庫DIは▲5.6ポイントの0.0、資金繰りDIは+10.6ポイントの5.3、設備状況DIは+11.4ポイントの▲5.3となりました。今後は、設備状況DIは横這い、販売価格DI・仕入価格DI・在庫DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が47.4%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」31.6%、「仕入先からの値上げ要請」21.1%、「人件費の増加」「利幅の縮小」が共に15.8%となりました。

【重点施策】

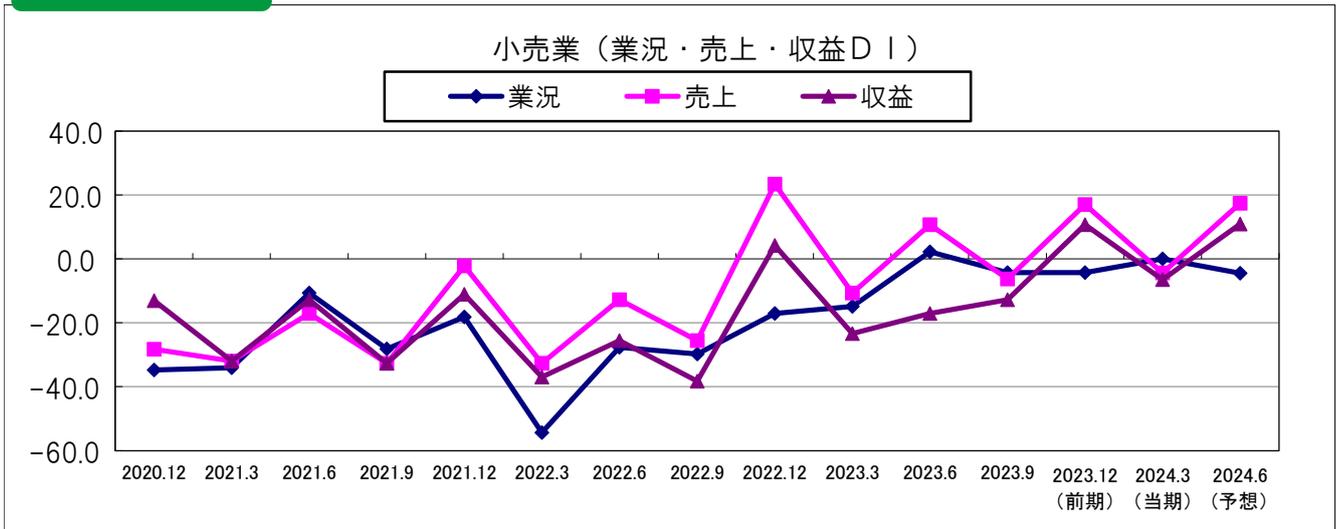
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」「経費を節減する」が共に47.4%と最も多く、次いで「人材を確保する」31.6%、「品揃えを充実する」「機械化を推進する」が共に10.5%となりました。

小売業

今期：業況DIは改善、売上・収益DIは悪化

来期：売上・収益DIは改善、業況DIは悪化の見込み

主要DI推移



主要DI構成



○業況DI



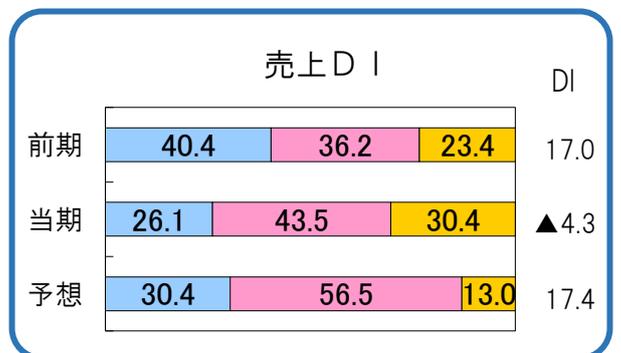
業況DIは、対前期比+4.3ポイントの0.0(前年同期▲14.9・前回予想との差+8.5)の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲4.4ポイントの▲4.4と悪化を見込んでいます。



○売上DI



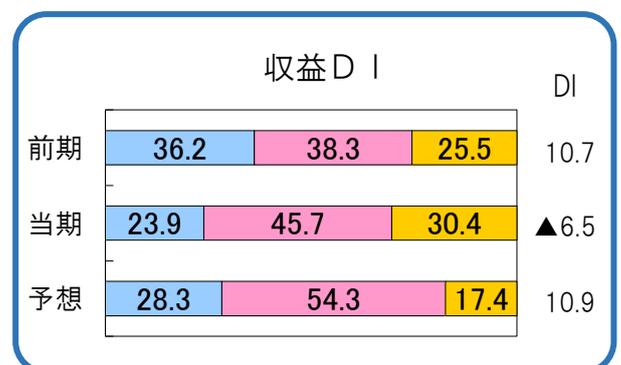
売上DIは、対前期▲21.3ポイントの▲4.3(前年同期▲10.6・前回予想との差▲14.9)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+21.7ポイントの17.4と大幅な改善を見込んでいます。



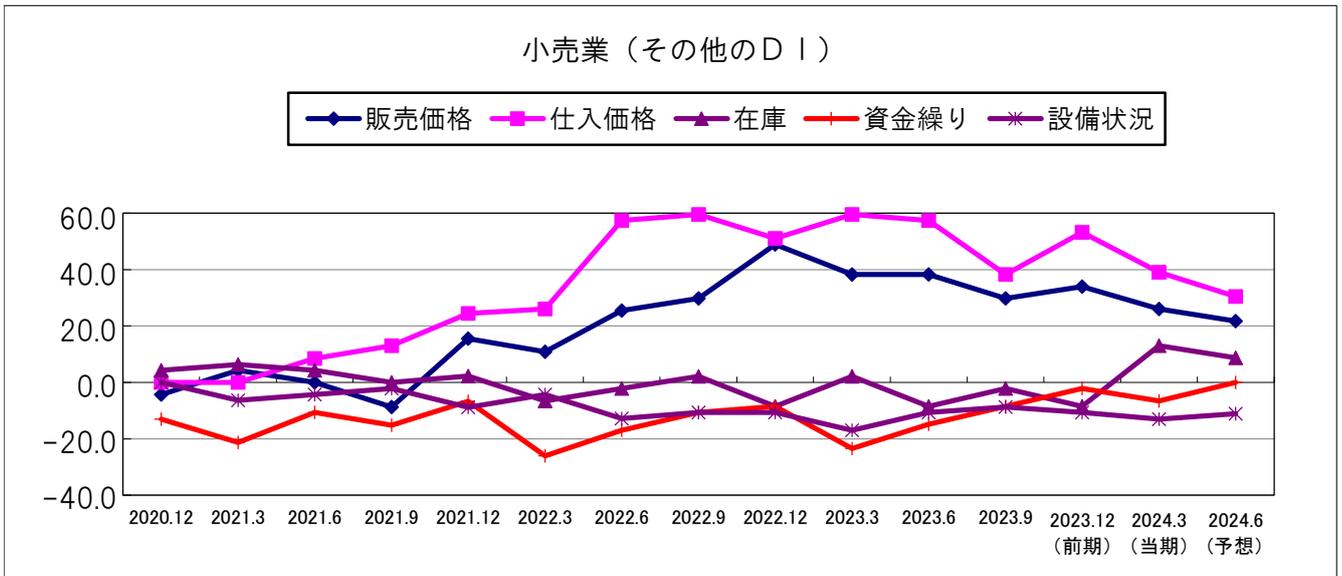
○収益DI



収益DIは、対前期比▲17.2ポイントの▲6.5(前年同期▲23.4・前回予想との差▲6.5)と4期ぶりの悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+17.4ポイントの10.9と大幅な改善を見込んでいます。



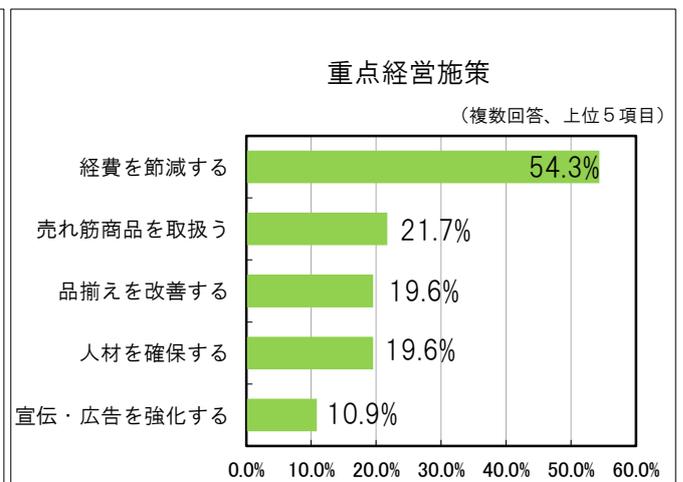
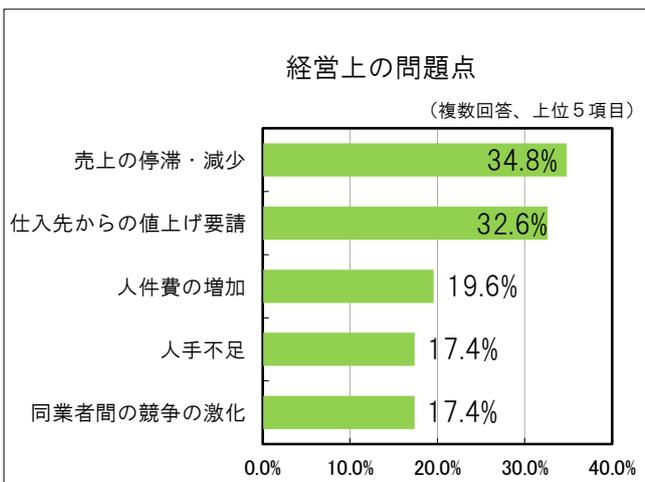
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは▲7.9ポイントの26.1、仕入価格DIは▲14.1ポイントの39.1、在庫DIは+21.5ポイントの13.0、資金繰りDIは▲4.4ポイントの▲6.5、設備状況DIは▲2.4ポイントの▲13.0となりました。今後は、資金繰りDI・設備状況DIは上昇、販売価格DI・仕入価格DI・在庫DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が34.8%と最も多く、次いで「仕入先からの値上げ要請」32.6%、「人件費の増加」19.6%「人手不足」「同業者間の競争の激化」が共に17.4%となりました。

【重点施策】

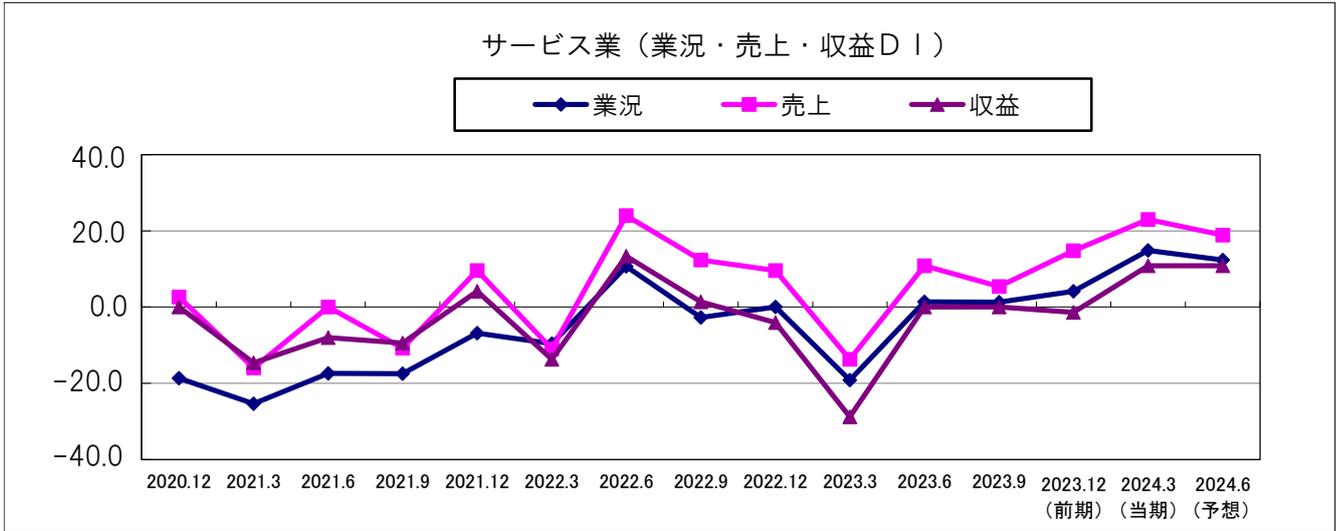
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が54.3%と最も多く、次いで「売れ筋商品を取扱う」21.7%、「品揃えを改善する」「人材を確保する」が共に19.6%、「宣伝・広告を強化する」10.9%となりました。

サービス業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：収益D I は横這い、業況・売上D I は悪化の見込み

主要D I 推移



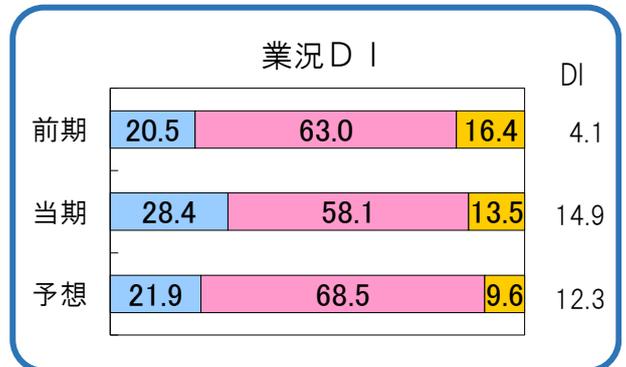
主要D I 構成



○業況D I



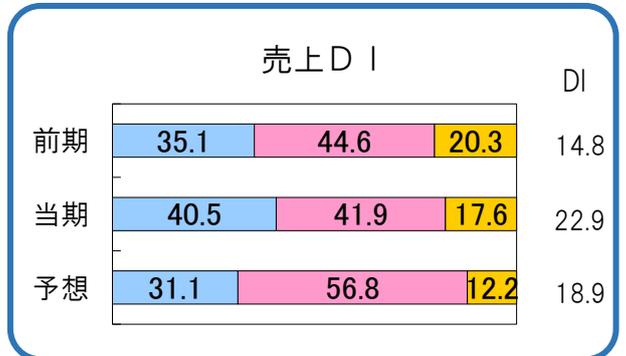
業況DIは、対前期比+10.8ポイントの14.9(前年同期▲19.2・前回予想との差+9.5)と2期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲2.6ポイントの12.3と悪化を見込んでいます。



○売上D I



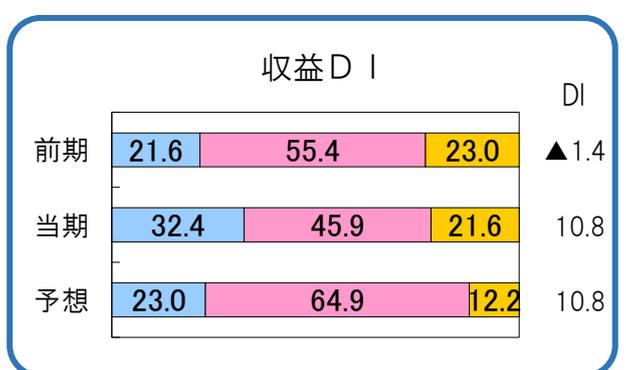
売上DIは、対前期比+8.1ポイントの22.9(前年同期▲13.7・前回予想との差+21.5)と2期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲4.0ポイントの18.9と悪化を見込んでいます。



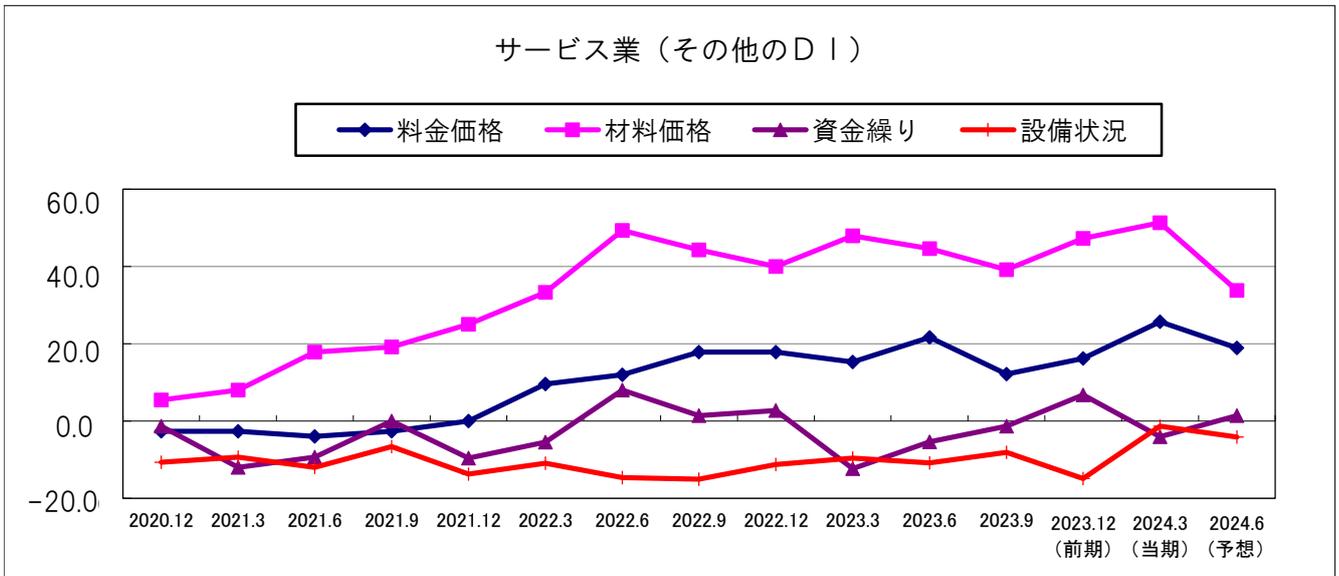
○収益D I



収益DIは、対前期比+12.2ポイントの10.8(前年同期▲28.8・前回予想との差+13.5)と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比±0.0ポイントの10.8と横這いを見込んでいます。



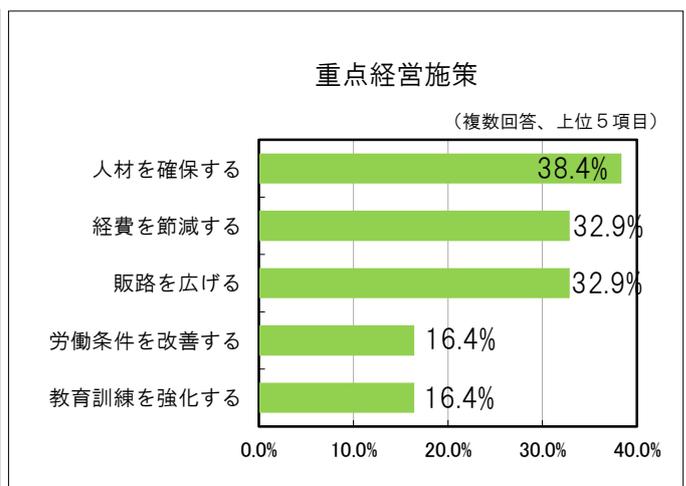
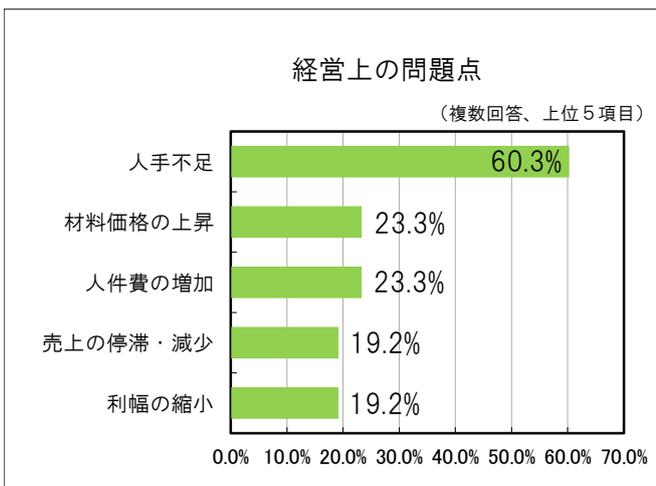
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、料金価格DIは+9.5ポイントの25.7、材料価格DIは+4.1ポイントの51.4、資金繰りDIは▲10.9ポイントの▲4.1、設備状況DIは+13.5ポイントの▲1.4となりました。今後は、資金繰りDIは上昇、料金価格DI・材料価格DI・設備状況DIで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が60.3%と最も多く、次いで「材料価格の上昇」「人件費の増加」が共に23.3%、「売上の停滞・減少」「利幅の縮小」が共に19.2%となりました。

【重点施策】

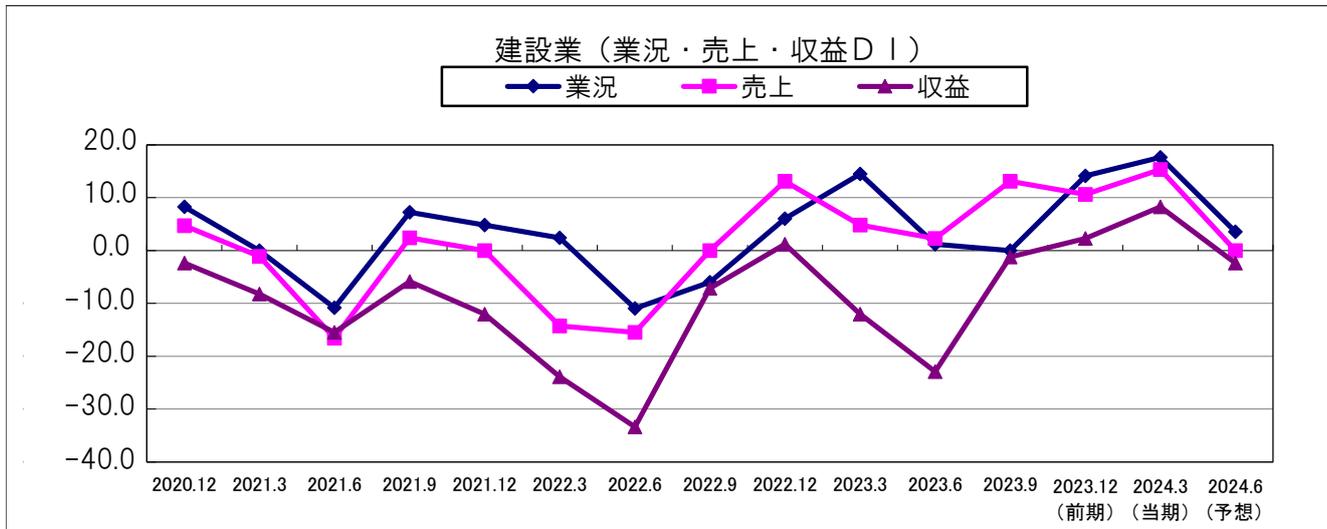
当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が38.4%と最も多く、次いで「経費を節減する」「販路を広げる」が共に32.9%、「労働条件を改善する」「教育訓練を強化する」が共に16.4%となりました。

建設業

今期：業況・売上・収益D | 共に改善

来期：業況・売上・収益D | 共に悪化の見込み

主要D | 推移



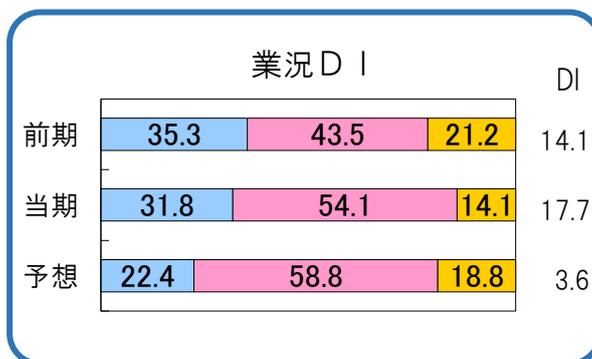
主要D | 構成



○業況D |



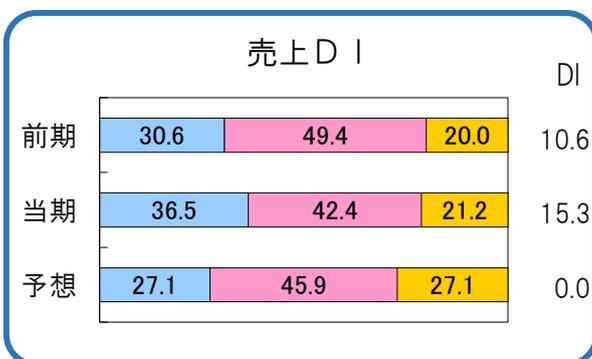
業況DIは、対前期比+3.6ポイントの17.7(前年同期14.5・前回予想との差+4.6)と2期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲14.1ポイントの3.6と大幅な悪化を見込んでいます



○売上D |



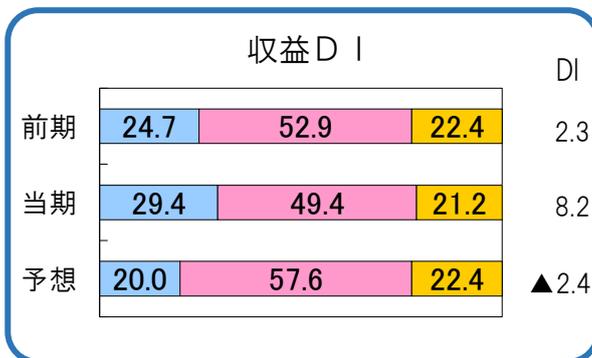
売上DIは、対前期比+4.7ポイントの15.3(前年同期4.8・前回予想との差▲2.3)の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲15.3ポイントの0.0と大幅な悪化を見込んでいます。



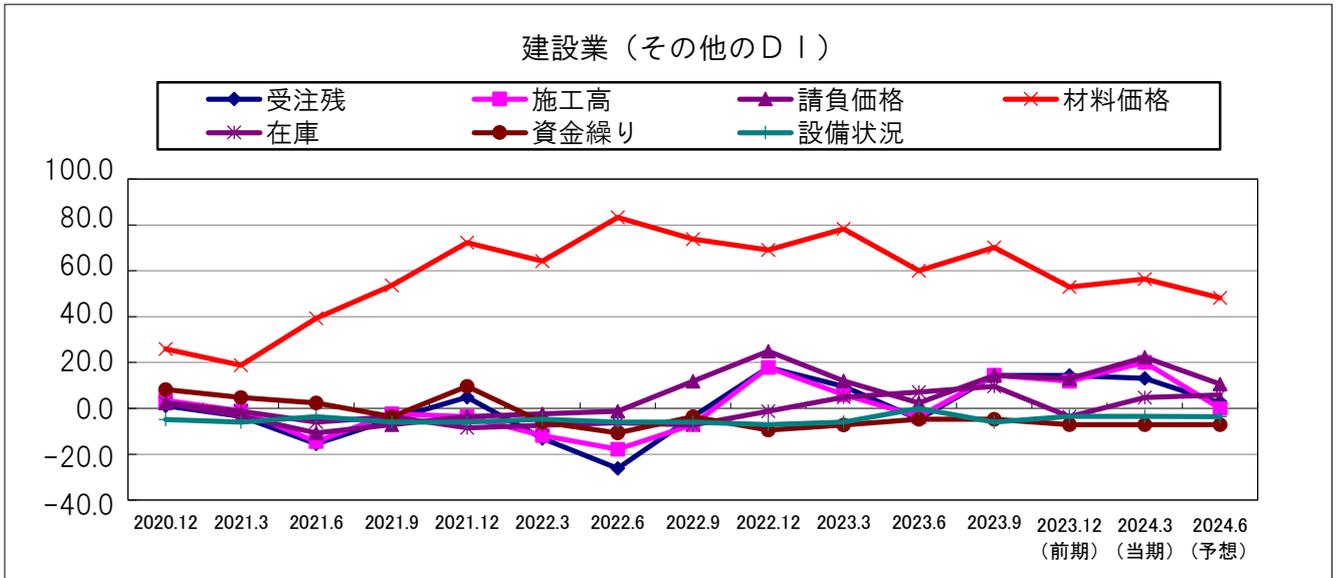
○収益D |



収益DIは、対前期比の+5.9ポイントの8.2(前年同期▲12.0・前回予想との差+1.1)の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲10.6ポイントの▲2.4と大幅な悪化を見込んでいます。



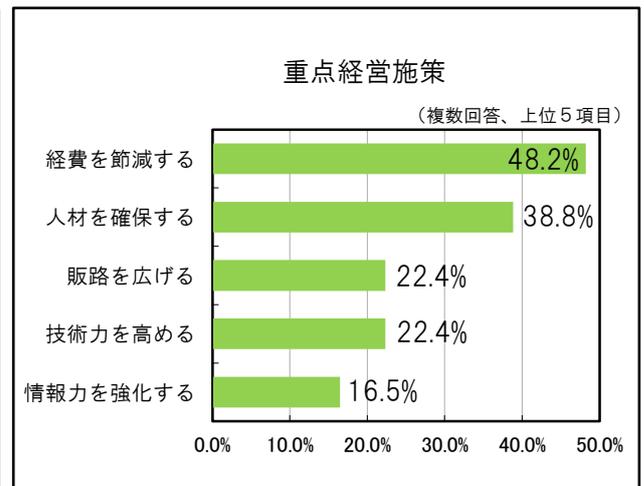
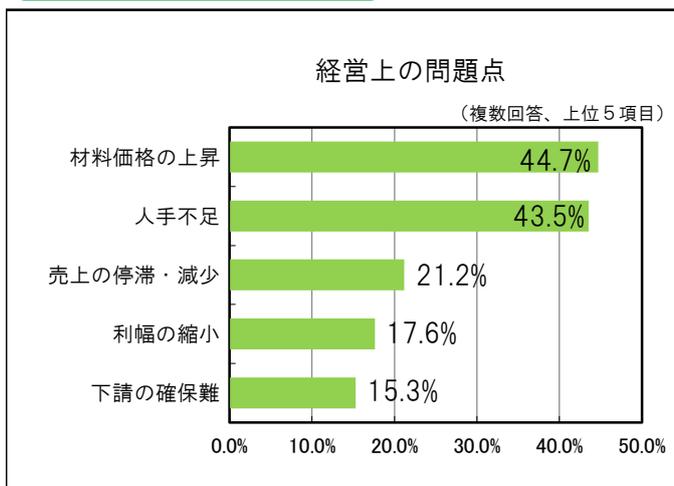
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは▲1.2ポイントの13.1、施工高DIは+8.1ポイントの20.0、請負価格DIは+9.5ポイントの22.4、材料価格DIは+3.6ポイントの56.5、在庫DIは+8.3ポイントの4.7、資金繰りDIは±0.0ポイントの▲7.1、設備状況DIは±0.0ポイントの▲3.5となりました。今後は、在庫DIは上昇、資金繰りDIは横這い、受注残DI・施工高DI・請負価格DI・材料価格DI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の上昇」が44.7%と最も多く、次いで「人手不足」43.5%、「売上の停滞・減少」21.2%、「利幅の縮小」17.6%、「下請の確保難」15.3%となりました。

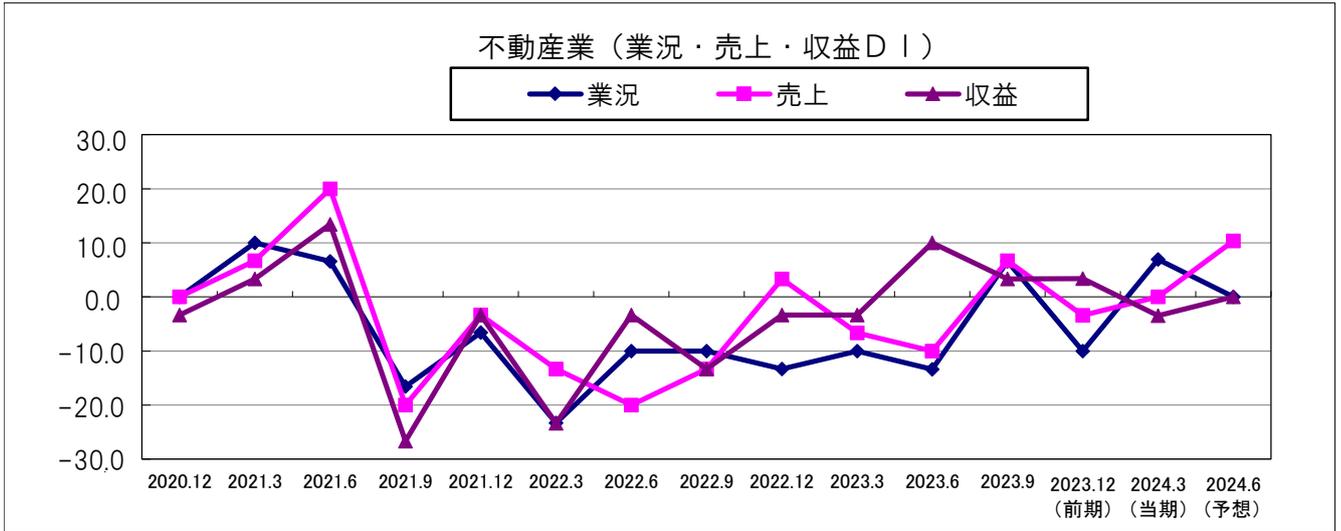
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が48.2%と最も多く、次いで「人材を確保する」38.8%、「販路を広げる」「技術力を高める」が共に22.4%、「情報力を強化する」16.5%となりました。

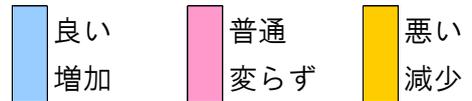
不動産業

今期：業況・売上DIは改善、収益DIは悪化
 来期：売上・収益DIは改善、業況DIは悪化の見込み

主要DI推移



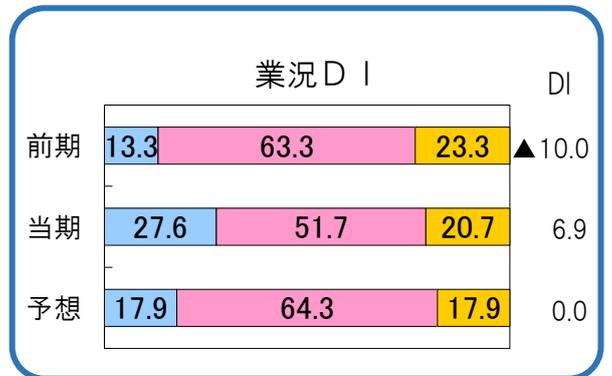
主要DI構成



○業況DI



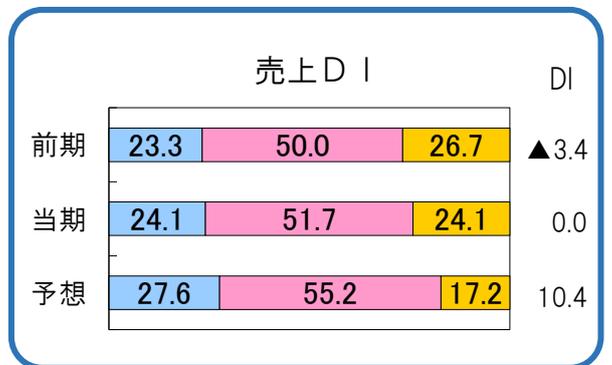
業況DIは、対前期比+16.9ポイントの6.9（前年同期▲10.0・前回予想との差+10.3）と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲6.9ポイントの0.0と悪化を見込んでいます。



○売上DI



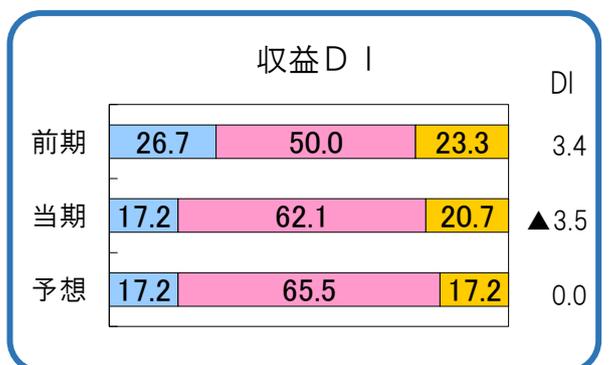
売上DIは、対前期比+3.4ポイントの0.0（前年同期▲6.7・前回予想との差▲10.0）の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比+10.4ポイントの10.4と大幅な改善を見込んでいます。



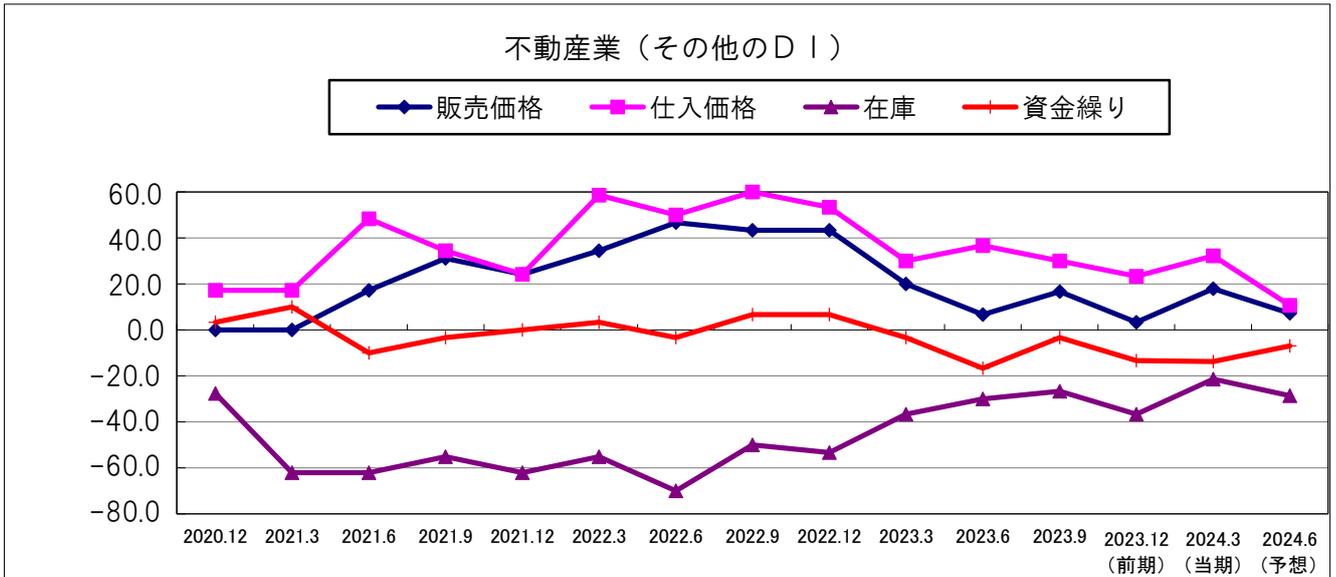
○収益DI



収益DIは、対前期比▲6.9ポイントの▲3.5（前年同期▲3.3・前回予想との差▲10.2）の悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+3.5ポイントの0.0と改善を見込んでいます。



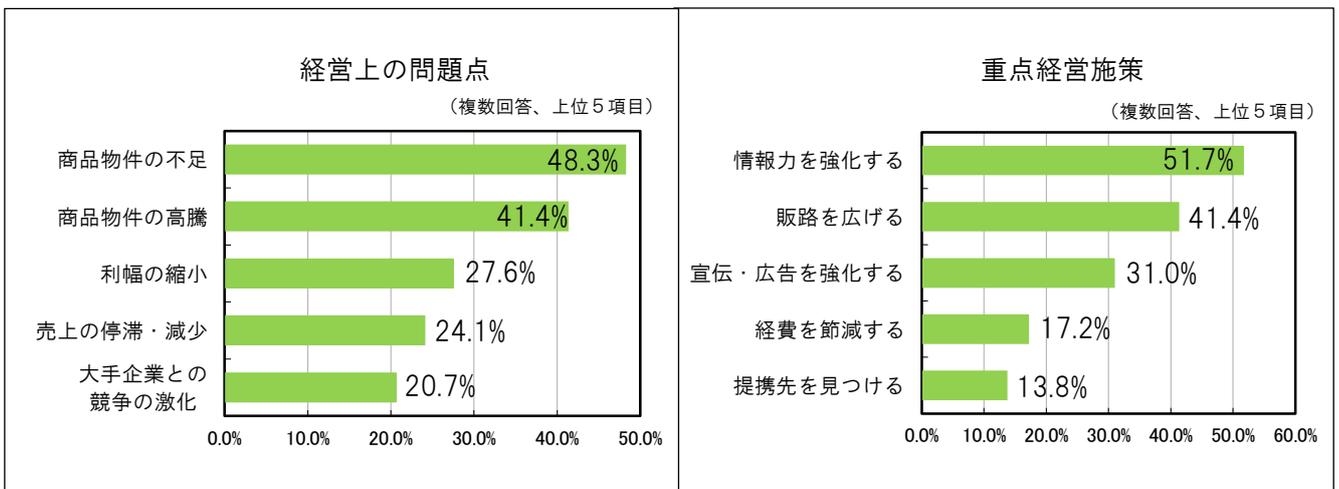
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは14.6ポイントの17.9、仕入価格DIは+8.8ポイントの32.1、在庫DIは+15.3ポイントの▲21.4、資金繰りDIは▲0.5ポイントの▲13.8となりました。今後は、資金繰りDIは上昇、販売価格DI・仕入価格DI・在庫DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」が48.3%と最も多く、次いで「商品物件の高騰」41.4%、「利幅の縮小」27.6%、「売上の停滞・減少」24.1%、「大手企業との競争の激化」20.7%となりました。

【重点施策】

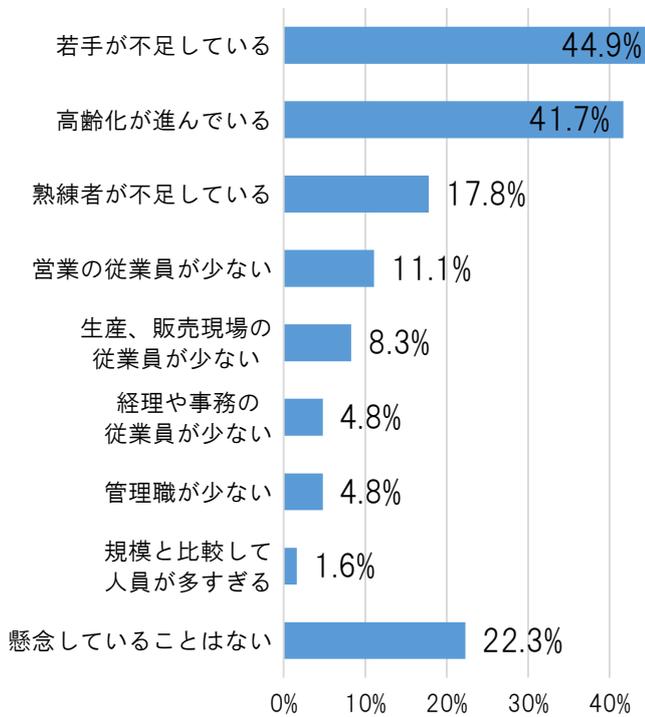
当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が51.7%と最も多く、次いで「販路を広げる」41.4%、「宣伝・広告を強化する」31.0%、「経費を節減する」17.2%、「提携先を見つける」13.8%となりました。

特別調査

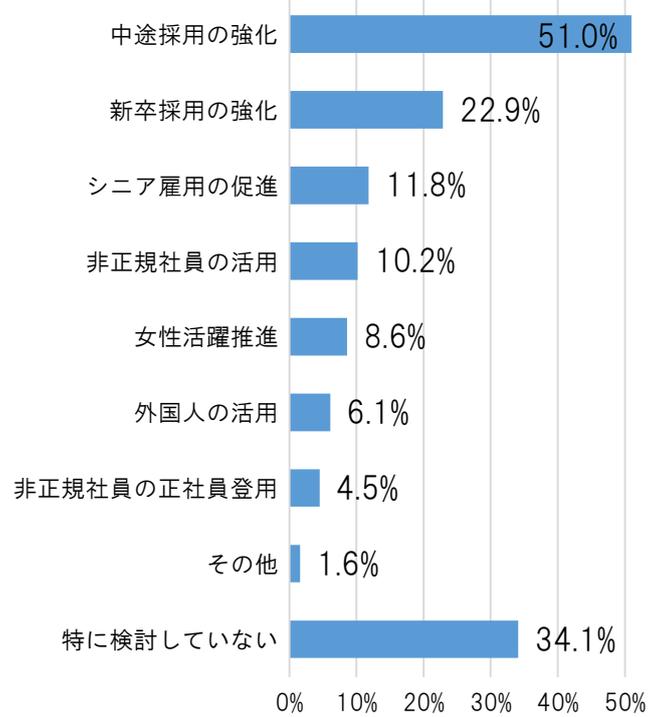
中小企業における人材戦略について

単位：(%)

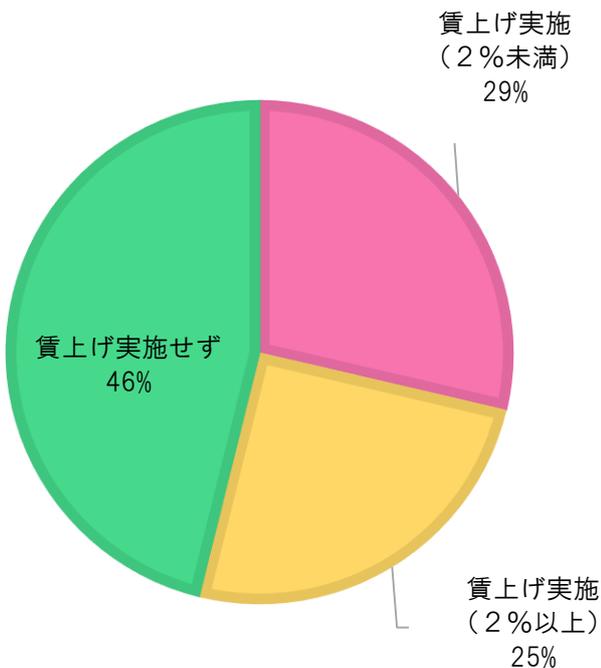
1 現在の人材の状況について懸念していることはありますか。(最大3つまでの複数回答)



2 今後の人材に対する対応策についてお答えください。(最大3つまでの複数回答)



3 人材定着などに向けた、2024年中の賃金引き上げ状況をお答えください。



4 2024年4月から、建設業、自動車運転業などで残業時間の上限規制が始まります(2024年問題)。影響と対策をお答えください。

